

2020年の日本書紀編纂1300年にむけて

宇治の歴史と文化の魅力を発信する「ちはやぶるプロジェクト」

ちはやぶる宇治の短歌会

～菟道稚郎子の想いによせて～

うじのわきいらつこ

3

日時：

11月26日(土) 13時～17時

京阪宇治駅集合 宇治の名所をめぐり歌を詠む吟行を行います。

※雨天の場合は室内

参加費：1,000円

会場：恵心院

〒611-0021 京都府宇治市宇治山田67



宇治には天智・天武という二人の天皇に愛された才媛・額田王ゆかりの地、下居神社など万葉集や古今和歌集に詠まれた場所がたくさんあります。



今回の短歌会の概要

今回は燃えるような紅葉が美しい宇治川東岸のパワースポットをめぐります。

世界遺産の宇治上神社、紅葉の名所・興聖寺、さわらびの道、宇治最古の寺・橋寺など短歌のインスピレーションがとめどなく湧き出てきます。

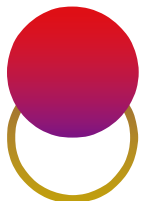
会場となる恵心院は、空海が創建し、源氏物語で浮舟を助けた横川の僧都のモデル恵心僧都・源信ゆかりの寺。吟行スポット満載の短歌会。

初めての方、大歓迎！



講師 高田ほのか

テレビ、ラジオ、イベントなどで活躍中の新進気鋭の女流歌人。作家やアーティストとのコラボや短歌を通して天神橋筋商店街の活性化に寄与するなどジャンルにとられない活動を行っている。未来短歌会所属 関西学院大学 文学部卒 小学生の頃、少女マンガのモノログに惹かれ大学卒業後、短歌の創作を開始する。第二回角川全国短歌大賞「与謝野晶子短歌文学賞姉妹賞」受賞ほか。



ちはやぶる
宇治の未来
をつくる会

子どもたちが生まれ育っていく宇治の町が、より素敵になって欲しいと願い活動を始めました。

琵琶湖から流れでる唯一の川である宇治川。

古来多くの人たちがこの地に立ち、立場や言葉の違いを乗り越え、調和して暮らしてきたのではないのでしょうか？宇治川の滔々たる流れを見ていると、そんな想像が広がります。

宇治は歴史あるところです。

宇治の歴史を知ること、この地に住むことの誇りを感じ、一緒に新たな魅力を探し出し、発信することを通して「信頼」と「互恵」に基づいた顔の見える 関係をつくっていきたいと思います。

お問い合わせ・申し込み

☎ 090-3994-7595 (森田)

✉ chihayaburuuji@gmail.com